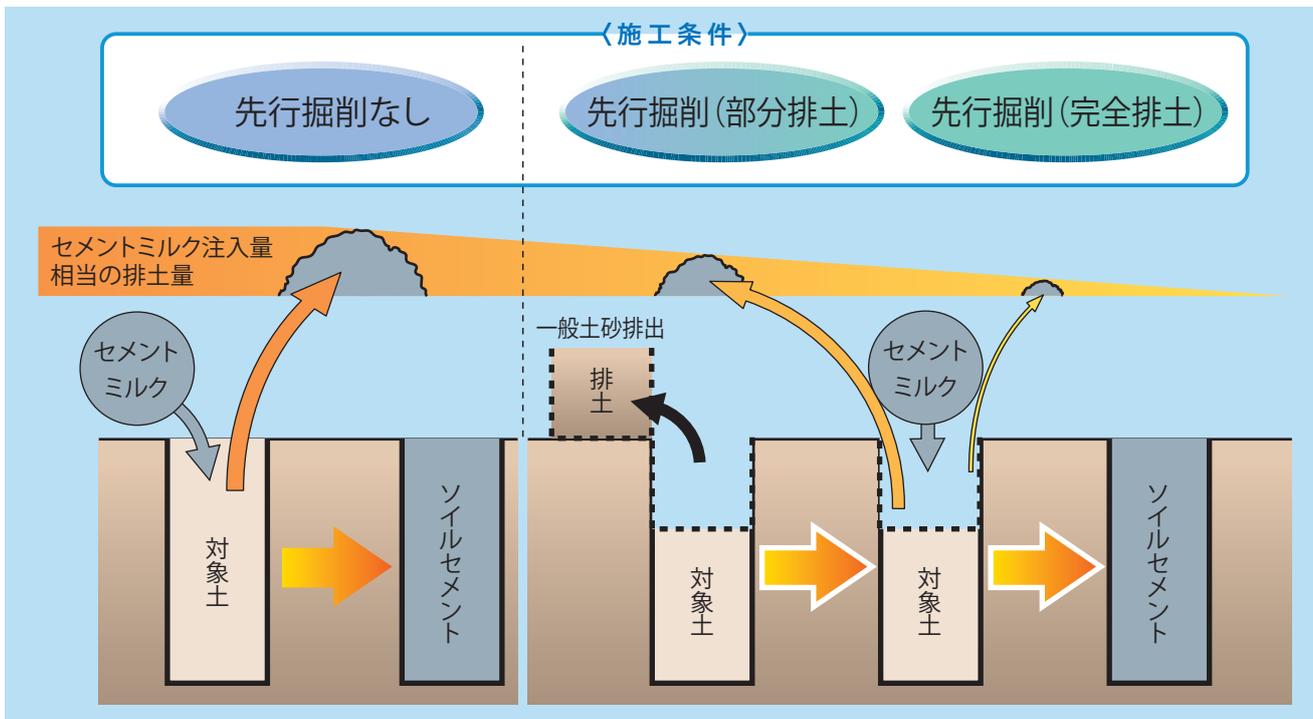


先行掘削によるセメント混じり排土の発生量の低減

多くの低騒音・低振動工法は、杭築造のため多量の掘削土・建設残土を発生します。鋼管ソイルセメント杭工法は、通常の施工においても、セメント混じり排土はセメントミルク注入量相当と排出量の少ない工法です。

さらに先行掘削を併用した場合、セメント混じり排土の量を大幅に減少させることができます。

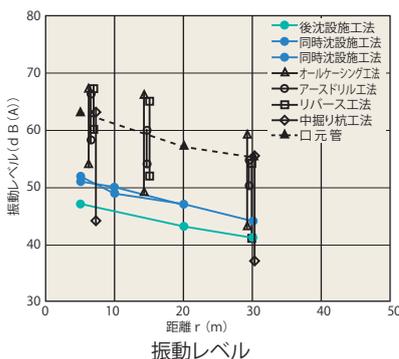
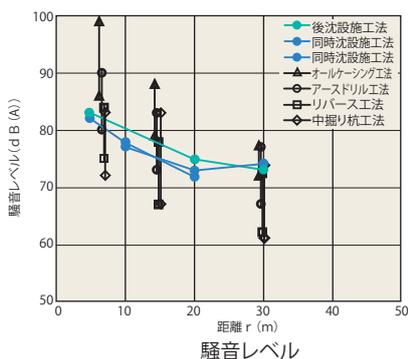
二次的には、ダンプトラックの出入りが少なくなり、また場内も広く使え整然とした状態となります。



さらに、杭本数の低減効果により排土量（フォーチング分も含む）が減ります。

騒音・振動対策

鋼管ソイルセメント杭の騒音・振動レベルは、中掘り杭工法等の代表的な低騒音・低振動工法と同等と考えられます。



出典：(社)日本建設機械化協会「建設に伴う騒音振動対策ハンドブック」[改訂版]昭和62年6月

近接施工による周辺構造物に与える影響

鋼管ソイルセメント杭工法は、掘削孔内にソイルセメントを満たした状態で施工を行うため、周辺地盤・構造物におよぼす影響が非常に少ない工法です。鉄道や高架橋に近接した施工においても、それらに影響を与えた報告はありません。

